

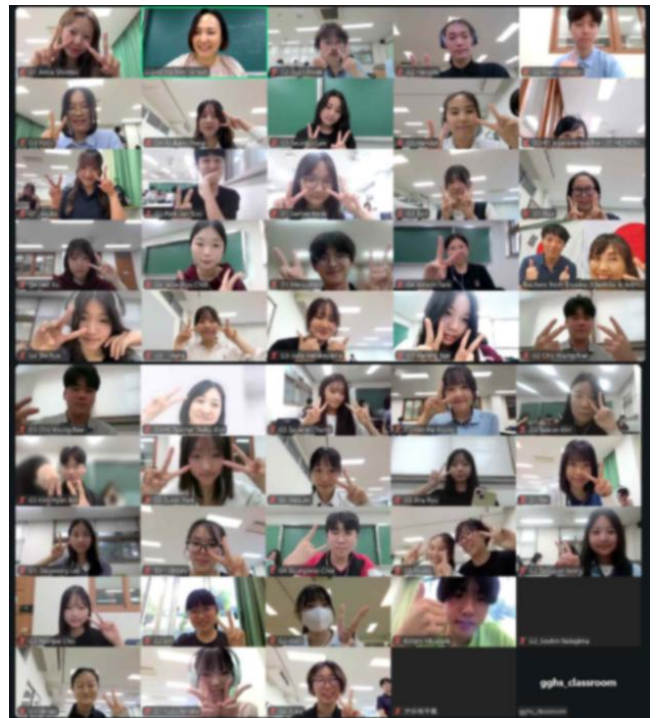
SSH&国際探究ニュース

SSH & Global Education Reports

韓国の高校生とオンライン交流しました!



7月8日(水)、韓国の高陽国際高等学校の生徒23名と本校生徒21名が、オンラインによる国際交流を行いました。同世代の韓国の生徒との熱心なディスカッションを通して、生徒たちは文化や価値観の違いを越えた相互理解の大切さを肌で実感したようです。終了後には、双方の生徒から「ぜひ次回も開催してほしい!」という強い要望が寄せられ、次なる交流への期待に胸を膨らませていました。それでは、当日の活気あふれる様子と、参加者の声をお届けします。



国際交流サークルの参加者の声

今回は韓国にある高陽国際高校とオンラインで交流を行いました。今回はオンラインでの交流だったため開始前に少し緊張しましたが、韓国の方が日本語を用いて暖かく歓迎してくださり、気持ちがほぐれました。交流中は、今週にあった笑顔になるようないいことや、好きな教科、好きなサッカーチームなど、お互いに英語での会話を楽しみました。会話をしていく中で、異なる文化に囲まれて育っても、好みや感受性などは共通していると実感しました。また、楽しい時間ではあったのですが、しばしば自分の語学能力が低く自分の言いたいことを正確に伝えることができず、歯がゆいときもありました。今後も自身の英語力を高めるため、精進していきたいです。語学能力の壁を認識した一方で、的確に自分の気持ちを表現できたと思っても、会話が弾まず気まづくなることがあり、語学能力だけではなく、相手の立場になって考える「コミュニケーション能力」の重要性を実感しました。今後は多様な背景を持つ人とも等しく関わるためにも、人と多く話してコミュニケーション能力を高めていきたいと思っています。今回はオンラインの交流となり、慣れないことも多かったですが、距離を問題にしない新しい国際交流の試みだと思っています。画面越しで会話を楽しむ一方で、画面越しでは伝わらない交流相手の方の熱量や、交流の空気感などを直接感じたい思いが強まり、対面の良さを再認識できた交流となりました。この場を借りて、このような貴重な機会を設けていただいた高陽国際高校、戸山高校の両校の先生方に感謝の意を表します。また、今回の交流会に参加してくださった生徒の皆さん、この度は誠にありがとうございました。またの機会に交流できることを願っています。(2年 HS)